

## 1. 公園整備の目的とコンセプト

### -1. 目的

本公園は、土地区画整理事業によって生み出された約1.2haの敷地に、大和田二・三丁目地区の魅力向上・活性化を目的として整備されるものであり、以下の2点を実現することが公園事業の大きな課題とされています。

1. 柳瀬川に接すること、敷地東には既に市民に親しまれているSTECフィールド大和田（少年サッカー場）があることなど、公園の立地特性を生かし幅広い年齢層の利用に供する公園づくり
2. 老朽化した大和田ファミリープールの代替施設となる大型遊具を配した水遊びの場づくり



「河川空間と一体となって地区の魅力向上に資する公園づくり」

### -2. 整備コンセプト

柳瀬川に沿って立地すること、そしてそこに広がる川辺の風景に着目し、整備コンセプトを次のようにしました。

川の近くに広がる野原、すなわち地域の自然水と緑が創り出した「地」の風景に、大小の多様な丘「図」を加え、ここにしかない公園の価値を生み出す

### 「かわのべの丘」

川辺 + 野辺 = かわのべ  
 ↑川の近く ↑野原の近く



## II. 整備計画

### -1. 方針

#### 1) 周辺環境と調和するデザイン

- ・緩やかに起伏する地形をつくり、川辺と一体となったおおらかな風景を創り出します。
- ・川を見晴らす丘をつくり、公園内に川の風景を取り込み、川との一体感を増幅させます。
- ・地形のアンジュレーション（丘の造形）により鉄塔や大規模倉庫群の都市的な風景をやわらげます。



#### 2) 公園利用者への十分なサービスを高める施設

- ・利用者へのサービス向上を図るため、管理棟、トイレ、水飲み、公園案内板、暑熱を和らげる日除けシェルターを設置します。
- ・公園センター（管理棟及びトイレ）は、利用者にとってわかりやすい（視認性の高い）場所である道路（区11-1号線）歩道に接した西ブロック中央部に配置します。
- ・公園センターは、公園利用の起点や集合場所となることなどに配慮すると同時に、公園管理機能に配慮した建築計画を立案します。



#### 3) 園内の賑わい演出

- ・夏の水遊び場の入り込み、川辺の春秋のピクニックなどの利用状況に応じ、東西ブロックにキッチンカーなど飲食サービスカーを導入し、賑わいを演出します。
- ・公園で開催される各種イベントを想定して、園内の主要空間での賑わいを演出します。



#### 4) 施設の利用のしやすさを考慮した動線計画

- ・園内施設、空間をくまなく利用できる回遊動線を巡らせます。
- ・二分された東西ブロックを結ぶ連絡通路を設置します。
- ・柳瀬川堤防道路へとスムーズにつながる連絡、入口を設置します。





-2. 整備計画図





-3. 水の丘（水遊び遊具）について

	A 案 大型遊具 + 水が出る遊具 (プロポーザル時提案 海賊船)	B 案 水が出る大型複合遊具	C 案：推奨 多様な水遊びができるアスレチック遊具
遊具 イメージ写真	<p>大型遊具</p>  <p>水が出るバケツ</p>   <p>形状：約 W9.0×5.0×H6.0m</p>	<p>大型複合遊具</p>  <p>形状：約 W13.5×8.0×H8.5m</p>	<p>アスレチック遊具</p> <p>幼児用</p>  <p>形状：約 W9.5×9.0×H2.0m</p> <p>水が出るバケツ</p>  <p>児童用</p>  <p>形状：約 W11.0×9.5×H2.5m</p>
対象年齢	<p>夏 (水遊び+遊具)</p> <p>幼児および児童 (3～12歳)</p> <p>春・秋・冬 (遊具)</p> <p>児童 (6～12歳)</p>	<p>幼児および児童 (3～12歳)</p> <p>幼児 (3～6歳)</p>	<p>幼児および児童 (3～12歳)</p> <p>幼児および児童 (3～12歳)</p>
長所	水施設が充実しているので、夏季は幼児から児童まで幅広く水遊びを楽しむことができる。	ダイナミックに水が出る遊具で、遊具と一体となった水遊びを楽しむことができる。	幼児と児童それぞれに対応した遊具を設置するので、一年を通して幅広く遊びを楽しむことができる。
課題	児童対象の遊具であるため、幼児が遊べる遊具を設置する必要がある。	幼児対象の遊具であるため、夏季以外の遊びの年齢が限定される。	幼児と児童が混在しないような遊具配置を工夫する必要がある。
遊具と水施設の 配置案	 <p>見守りデッキ</p> <p>石の山</p> <p>水が出るバケツ</p> <p>水のすべり台</p> <p>霧状の噴水</p> <p>大型遊具</p> <p>じゃぶじゃぶ池</p> <p>水あそび場を 2 箇所に配置</p>	 <p>見守りデッキ</p> <p>石の山</p> <p>水が出る大型複合遊具</p> <p>大型遊具を中心に配置</p>	 <p>見守りデッキ</p> <p>石の山</p> <p>水を上から浴びる 幼児・児童用遊具</p> <p>水のすべり台</p> <p>水が吹きかかる 児童用遊具</p> <p>じゃぶじゃぶ池</p> <p>水が噴き上がる 幼児用遊具</p> <p>遊具をサーキット状に配置</p>



-4. 管理棟・トイレ計画

1) 配置計画

公園利用サービス、水遊び場の運営・管理、トイレ等の機能をもった公園センターは、利用者にとってわかりやすい（視認性が高い）場所である道路（区 11-1 号線）歩道に接した西エリア中央部に配置します。



2) 公園センターの機能内容と規模

- ・公園センターは、利用者の目印（ランドマーク）となることを考慮したデザインとします。
- ・利用者が集う場所になるように、大きな庇をもった管理棟とトイレとします。

[管理棟]・・・約 40 ㎡

管理室	更衣室	授乳室	倉庫
<ul style="list-style-type: none"> <li>・机 × 4 基</li> <li>・窓口 × 2 面</li> <li>・簡易キッチン</li> <li>・冷蔵庫</li> <li>・書庫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロッカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授乳室兼オムツ替えスペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉庫スペース</li> </ul>

[トイレ]・・・約 35 ㎡

男子トイレ	女子トイレ	バリアフリートイレ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大便器（個室） × 1 穴</li> <li>・小便器 × 2 穴</li> <li>・手洗い × 2 基</li> <li>・踏み台（折り畳み式）</li> <li>・幼児用のイス × 1 基</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大便器（個室） × 3 穴 ※幼児用のイス × 3 基（各個室に 1 基）</li> <li>・手洗い × 2 基</li> <li>・収納スペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大便器（個室） × 1 穴</li> <li>・手洗い × 1 基</li> <li>・踏み台（折り畳み式）</li> <li>・オストメイト × 1 基</li> </ul>